

2023 年度第 3 四半期決算説明会（2024 年 1 月 30 日開催）

QA 要旨

Q1. 通期予想の修正について、基本的に為替要因による修正との説明でしたが、市況感は 3ヶ月前と比べて変化はないでしょうか。

A1. 通期の見通しについては、今回は為替変動分を反映するという点で、それ以外は前回の見通しからほぼ変わっていません。但し、純利益については、税務調整の影響を反映しています。市況感に関しては、民生、産機等のマクロ需要の弱さが量産売上にも影響が出ていますが、前回決算時の見通しにも織り込んでいます。自動車関係の開発、新規商談は堅調です。特需関連の売上については、特需は上期で終わったもののベース部分の売上は継続しており、想定線で推移すると見えています。

Q2. 3Q 実績について、粗利率が高かったと思います。前年同期比ではウエハ先行手配による一時費用がなくなったこと、前四半期比では NRE 売上が増加したことが粗利の増加の主な要因と理解しましたが、他に製品ミックスの変化などの要因もあったのでしょうか。

A2. 前年同期比では、ウエハ先行手配による一時費用がなくなったことに加え、ウエハ等の購入量の減少による間接的な為替影響も製品粗利率の改善につながりました。前四半期比では、NRE 売上の増加以外に、製品ミックスの良化やコストダウン、歩留り改善などの効果も寄与しました。

Q3. 自動車向けビジネスについて、御社の製品はカスタム製品が中心なのでマクロ需要の影響は受けにくいと理解していますが、昨今の車載半導体市況の厳しさを考えると、最先端ではない領域では、開発案件のキャンセルなど影響を受けていないのでしょうか。

A3. 自動車向けについては、現在量産中の製品で若干マクロ需要の影響を受けている製品はありますが、現在開発の中心となっている自動運転/ADAS 用途の製品については、お客様の開発計画に変更もなく、特にマクロ需要の影響を受けている状況にはありません。

Q4. 設備投資について、3Q 実績は過去最高水準まで上がっていますが、今後も更に増加していくのか、ピークアウトして減少していくのか見通しを教えてください。

A4. 先端テクノロジー品の開発増加により、IP/レチクルの投資金額は増加傾向で、またそれに伴い償却費も徐々に増加しています。また、設計環境強化の為に IT 投資やネットワーク投資など社内のインフラ投資も増加しています。今後も先端テクノロジー品の開発の増加に伴い、設備投資及び償却が徐々に増える傾向が続くと見ております。

Q5. 注力分野について、NRE 売上の傾向を見ると、オートモーティブの割合が大きく上昇し、数年後には製品売上に占める割合が拡大すると予想されますが、今後オートモーティブに集中するといった強弱をつけるような戦略への転換は考えているのでしょうか。それとも 4 つの注力領域は等しく扱うことを基本路線とされるのか今後の経営戦略について教えてください。

A5. 当社としては、地域的にもそうですが、アプリケーション的にもバランスの取れた成長をしていきたいと考えています。現在は、当社の製品開発のアプローチが自動車分野の需要に適していることから、このような傾向になっていますが、特定の分野に偏ることなくビジネスを拡大していきたいと考えています。

Q6. 今期の商談獲得金額について、前回決算発表時点で、内定込みで前年度の約 2,500 億円の半分以上の獲得が見えているとの説明がありましたが、3Q 時点での進捗はどうですか。

A6. 最終的な金額は通期決算時点で報告する予定ですが、昨年度と同等の水準の金額は獲得できるものと考えています。

Q7. 昨年 12 月に設立された自動車用先端 SoC 技術研究組合(ASRA)への参画の狙いと現在の進捗について教えてください。

A7. まだ発足したばかりなので、特に進捗など申し上げることはありません。これを機に自動車用先端 SoC の需要拡大に期待しています。

Q8. 自動車用 SoC については、北米メーカーからの引合いが強いとの説明でしたが、国内メーカーや欧州メーカーなど北米以外のメーカーからの引き合いは今後増えていく見込みでしょうか。

A8. 現在、最先端のプロセスを使ったハイパフォーマンス SoC を要望されているのは、北米や中国のメーカーが中心です。今後、日本や欧州メーカーでの需要拡大に期待していますが、カスタム SoC を採用されるメーカーが全てではなく、ASSP で設計されるメーカーもあるので、これは個々の会社の方針にもよります。

Q9. プロセスノード別の NRE 売上の構成比をみると、3Q は 3-7nm が 89% と大きく伸びており、3Q より 3nm の NRE 売上も計上されています。3nm はどのようなアプリケーションで、今後も先端プロセスノードの中での比率が拡大していくのでしょうか。

A9. 自動車向けの先端ノード製品の開発が進んでおり、3nm の NRE 売上がこの下期から計上されています。今後段階的に増えていく見込みです。

以上